

小涌谷から湯坂路で石仏群へ

日時：2021年5月22日（土） 天候：曇り 健脚LV2 歩数1万7000歩 10km

集合：箱根登山鉄道小涌谷駅 9時30分

コース 小涌谷駅（標高523m）～千条ノ滝～浅間山（標高802m）～湯坂路～鷹巣山（標高834m
昼食）～湯坂路～国道1号～芦之湯[☒]～国道1号最高地点（標高874m）～石仏群～精進池～
石仏群と歴史館～お玉ヶ池～箱根旧街道～元箱根～元箱根港バス停[☒]（バス）～箱根湯本駅

参加者 参加者20人

- 1班 勅使河原 河野SL 市村L 澤 島（班長）
- 2班 平石 山内 中村ゆSL 奥村 高橋友（班長）
- 3班 熊坂 清水 丹後 山田（班長） 三田
- 4班 奈良（班長） 栗田 大島 高山 古尾谷

前日までの雨が上がり、緑を愛で5月の心地よい風を受けての山行となりました。鎌倉古道湯坂路、江戸時代の箱根旧街道、新旧国道1号、3つの道を歩きました。いずれも多くの旅人が行き交う道でした。大山などの信仰登山とは違い、山行というよりはウォーキングといえる「小涌谷から湯坂路で石仏群へ」でした。

江戸時代の人々は、旅籠代を節約するために早朝に出立して1日10里ほど歩いたと言われます。ウォーキングシューズ、トレッキングシューズもない時代、草履で歩いたのですから凄いです。さすがに箱根は険しくて、小田原宿から箱根関所を越えて三島宿までの8里（約32km）の旅程だったようです。今回歩いたのは、箱根登山鉄道の小涌谷駅から箱根宿までの2里半（10km）です。

写真は、石仏群と歴史館前での集合写真。若葉と深い緑のコントラストが素敵です。山田さん撮影



標高 523mの小涌谷駅 ストレッチ&コース説明 9時40分スタート

箱根登山鉄道で、標高96mの箱根湯本駅から標高523mの小涌谷駅まで上がってきました。空気が少しひんやりとします。単線のすれ違い駅なのか車掌さんがホームに降りて話しかけてきました。次の電車からも参加者が降りてきました。駅前の広場で、河野サブリーダーのリードでストレッチ、市村リーダーがコース説明。9時40分、5人グループの4班体制で順次スタート。写真前列は2番手3班のみなさんです。



小涌谷駅～千条の滝通り～林道～ほうばの花～9時55分 千条の滝

箱根町港行きの小涌谷駅バス停がある国道1号を横断して「千条の滝通り」を上って行きます。案内板を左に曲り林道に入りました。ときおりうぐいすの鳴き声が聞こえてくる静かな道を進んで行くとほうばの白い花が咲いていました。9時55分、千条ノ滝に着きました。滝は、高さ3mほどですが幅20mにわたって湧出する地下水がすだれ状に落ちる優雅な滝です。水が千の糸となって流れ落ちる様子から千条ノ滝（ちすじのたき）と呼ばれています。この日1枚目の集合写真を撮りました。



千条の滝～蛇骨川沿いの登山道～分岐～10時55分浅間山（802m）

千条ノ滝の流れ落ちるのをしばし楽しみ、石がゴロゴロしている蛇骨川に架かる木橋を渡り、川に沿って登山道を上ります。整備されているところもありますが大きな石もゴロゴロ。水の流れ落ちる音を聞きながら上って行くと分岐の道標が出てきました。右の蛇骨川に沿って行くと鷹巣山、左の浅間山方面の急登へ進みます。河野さん先頭の1番手グループ1班、山田さん先頭の2番手グループ3班。浅間山山頂まであと5分、奈良さん先頭の3番手グループ4班、最後尾歩きは4番手グループ2班の中村サブリーダー。10時55分、浅間山山頂到着。地図表示は標高802mですが山頂標識は804mになっていました。



浅間山 11時05分～余裕の下り～木段直登～11時35分鷹巣山（834m）

第一の峰を踏破、大分暑くなり衣類調整&水分補給、河野さんからのアンパン差し入れなどをいただきゆったりモードです。2枚目の集合写真をパチリ。ここまで登山者にはほとんど出会いませんでした。ここからは登山道も幅が広くなり、班体制ごとの歩きなしにして11時5分スタート。最初は余裕の下り、下りきったところに千条の滝分岐があり、林道への分岐道標もありました。この日、一番の上りが出てきました。直登の木段、九十九折りの上りもなんのその、私たち健脚グループここががんばりどころ。2月の下見のときとは違い、緑が目には優しいです。11時35分、先頭グループが標高834mの鷹巣山山頂に到着しました。



鷹巣山 12時05分～湯坂路～国道1号～12時35分 芦の湯バス停

山頂に一つあるテーブルを囲むように、ソーシャルディスタンスでシートを敷いてのゆったり昼食タイム。浅間山へ上るときから聞こえてきた「ドーンドーン」という音が再び。どなたかが「御殿場で演習をしている音だよ」と言われました。翌日の新聞が「陸上自衛隊がコロナ禍の5月22日、国内最大規模の実弾演習を東富士演習場（御殿場市）で行った、費用は77億円」と報道していました。午後の先頭は、河野さんから中村さんにバトンタッチ。12時05分スタート、湯坂路を下ります。箱根大学駅伝の選手が駆け抜けていく国道1号に出て、ときおり遊歩道に入ったりしながら12時35分に芦の湯バス停に着きました。



芦の湯バス停～国道1号最高地点 874m～曾我兄弟の墓～二十五菩薩

トイレ休憩です。道路を挟んで向かい側にも小田原方面へ行くバス待合所があります。下見のとき「本番が小雨模様だったら、ここの上りと下りの待合所を利用して昼食を取ろう」と思いました。雨降らずに良かったです。大学の長距離選手が練習で駆け上って行きます、来年の出場大学でしょうか。国道を外れて石畳道を上ります。しばらく歩いて再び1号線にでると、「国道1号最高地点 874m」の標識が出てきました。この日の最高峰です。200mほど進むと「曾我兄弟・虎御膳の墓」が並んでいます。左の2基が曾我兄弟の墓、右が虎御膳の墓です。国道1号下の通路をくぐって反対側に出ると「二十五菩薩」が見えてきました。



二十五菩薩～多田満仲の墓～地藏菩薩座像～精進池～石仏群と歴史館

岩盤には小さな仏像がいくつも彫られていました。少し下ると大きな1基の墓、平安時代に活躍した源氏の祖先多田満仲の墓がありました。国道の下を通り反対側に行くと六道地藏地域、大きな岩に像が浮き彫りされた磨崖仏の地藏菩薩座像、お堂に囲われていました。精進池を右手に見て少し進んで13時30分、「石仏群と歴史館」に着きました。館内には石仏群や周辺の史跡巡りのための情報が展示紹介されています。館内を見学する人、テラスで一休みする人など。しばし、鎌倉時代のいにしえの人に思いを馳せるひとときでした。精進池の水面が、数日来の雨で随分と高くなっています。会館の前で3枚目の集合写真を撮りました。



石仏群と歴史館 13時40分～苔むす石畳道～お玉ヶ池～木道散策断念

13時40分、「石仏群と歴史館」から国道1号の横断歩道を渡り、お玉ヶ池・元箱根方面をめざします。少し上って、あとは杉木立の中の苔むす石畳道をひたすら下ります。下りきったところが分岐、左のお玉ヶ池方面へ進みます。お玉ヶ池の由来は、江戸時代に「お玉」という女の子が、奉公の辛さに耐えかねて伊豆の大瀬村に戻ろうと関所破りをしてとらえられ、処刑した首を洗ったために名付けられたと伝わっています。そのお玉ヶ池の木道を散策しようとしたのですが、雨水の増水で木道が途中で池の中に沈んでしまっていました。中村さんが様子を見に行きましたが散策断念。下2枚の写真は2月の下見のときのものです。



お玉ヶ池バス停～旧国道1号～サンショウバラ～興福院 お玉観音

旧国道1号を上ることにしました。湯本駅から畑宿、甘酒茶屋を経て元箱根港へ向かう路線のお玉ヶ池バス停からスタートです。少し上って、興福院方面へ左に入ります。「サンショウバラが咲いている」とどなたかが教えてくれたのでシャッターを切りました。かなり高いところに花をつけています。ネットで調べましたら「日本固有種で、神奈川県、山梨県及び静岡県にまたがる富士箱根地区に分布し、山地に生育する。幹は太く高さは5mになる。花期は6月。和名の由来は葉が山椒の葉に似ているから」と書かれていました。興福院へ入ります。お玉観音は、お玉の霊と箱根の山で遭難や病死した旅人の霊を祀った観音さまです。お玉ヶ池越しに少し雲がかかってきた二子山が見えました。



興福院 14時45分～箱根旧街道権現坂石畳道～15時05分元箱根港

最後の休憩を終えて14時45分、興福院正面入り口を出ます。すぐに江戸時代の箱根旧街道、左側の甘酒茶屋方面から上ってくる道は水浸しでした。芦ノ湖方面の権現坂の石畳道へ、足元に細心の注意をして下ります。石畳道を下りきったところの杉並樹木歩道橋で写真をパチリ。国道1号に出て箱根神社一の鳥居をくぐり15時05分、元箱根港に着きました。1万7000歩、10kmのウォーキング、歩幅58.8cmでした。クールダウンを行い、15時30分発の箱根新道経由の急行バスに乗車、始発でしたがほぼ満員で座れない人もいました。下見のときには、バスは1時間1本に減便でしたが、それでもお客さんは少なかつたのに、箱根を訪れる人が増えてきたのでしょうか。15時55分、箱根湯本駅に着きました。



今回のコース、1月13日に計画していましたがコロナ禍で中止したコースです。当初12～13人ほどの参加とと思っていましたが、20人の方が参加してくれました。コロナ禍のウォーキング不足で脚力を不安に思われている方もいたかと思いますが、みなさんのご協力ですぐに楽しい山行となりました。

新型コロナウイルス感染拡大は、私たちクラブのウォーキング計画にも大きな影響を及ぼしています。

政府は、東京、大阪、京都、兵庫の4都府県に4月25日から5月11日まで発令中の緊急事態宣言を、31日まで延長し、愛知、福岡両県を追加しました。神奈川は引き続き「まん延防止等重点措置」の対象で、4月20日からの横浜、川崎、相模原市、4月28日からの鎌倉など6市に加えて、5月12日から茅ヶ崎などの9市町を追加。飲食店へは午後8時までの時短営業と酒類の終日停止の自粛要請がされました。政府はさらに14日、広島など5県をまん延防止等重点措置に加えると専門家に諮りましたが異論が続出、北海道、岡山、広島の3道県を「16日から緊急事態宣言の対象に加える」と方針転換。21日には沖縄県が追加されました。閉塞感を感じてきたこの1年余、「新型コロナウイルス感染拡大を一日も早く収束させ、元気で楽しいウォーキングを続けたいなあ」との思いを強くして箱根を下りてきました。(いちむら記)